

## 金沢21世紀美術館3月のプログラム

3  
2017

2017年3月に実施される金沢21世紀美術館主催事業についてお知らせいたします。

各催しの告知ならびに当日のご取材など、ぜひ貴媒体にて報道して頂きたくお願い申し上げます。

各事業の詳細につきましては、決まり次第随時お知らせいたします。

### 開催中の展覧会と関連イベント



#### トーマス・ルフ

開催中～3月12日(日)  
展示室7-14

トーマス・ルフ(1958年ドイツ、ツェル・アム・ハルマースバッハ生まれ)は、アンドレアス・グルスキーやトーマス・シュトゥールトらとともに、デュッセルドルフ芸術アカデミーでベルント&ヒラ・ベッヒャー夫妻に学んだ「ベッヒャー派」として、1990年代以降、現代の写真表現をリードしてきた存在です。

ルフは初期に発表した高さ約2メートルにもなる巨大なポートレート作品で注目されました。本展は、初期代表作から最新作《press++》まで、主要な18シリーズ、約160点の作品を展示する日本で初めての回顧展となります。

#### 「トーマス・ルフ」展 鑑賞ツアー 視覚の冒険 — 認知科学を通して見るトーマス・ルフ —

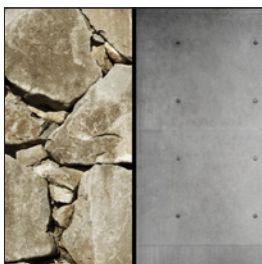
視覚や認知の専門家3氏と会場を巡り、作品をポートレート、立体視、白黒反転などのキーワードも交えて鑑賞します。各専門領域からの「見ること」に関する解説を通して、作品の新たな魅力や自分の身体感覚の不思議に迫ってみませんか。

講師＝伊丸岡俊秀(金沢工業大学情報フロンティア学部教授 専門:視覚認知)、田中吉史(同 教授 専門:認知科学)、渡邊伸行(同 准教授 専門:表情認知)

日時＝3月3日(金) 18:30～20:00

会場＝金沢21世紀美術館 レクチャーホール前集合

※定員に達したため、申込受付は終了しています。



#### 工芸とデザインの境目

開催中～3月20日(月・祝)  
展示室1-6

「工芸」か「デザイン」か。

プロダクトデザイナーの深澤直人氏を監修者に迎え、「プロセスと素材」「手と機械」「かたち」「経年変化」といった観点から工芸とデザインを見つめ直すことによって、それらの曖昧模糊とした境目を浮き彫りにします。それと同時に、最先端技術の発達などによって多様化が進む両者の新たな地平を考察します。

「工芸とデザインの境目」展関連&「素材と遊ぶ」シリーズ

高校生・中学生向けワークショップ 木工魂で作る! 『こぶポケット』～木の中の宝探し～

日ごろ売られている木材では、皮や瘤や虫食いの穴などは外して捨てられてしまう。でも、そんな部分をよく見て面白い形を見つけ出せば、自分だけの作品になる。鋸や鑿のような木工具も使いこなしながら、木を切ったり削ったりして、愉快的な姿の小物入れ『こぶポケット』に変身させよう!

講師＝林一平(木彫作家)

日時＝3月4日(土)、5日(日) 10:00～17:00 ※2日間連続

会場＝金沢21世紀美術館 プロジェクト工房

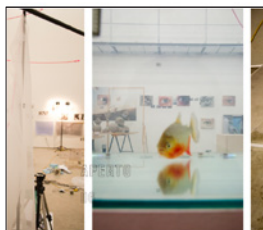
対象＝高校生、中学生(一般の方も若干名受け付けます)

参加費＝1,000円

定員＝10名(先着順)

持物＝タオル、飲み物、昼食、木工作業のしやすい服装

申込法＝電話またはウェブ申込フォームからお申込みください。 電話：076-220-2801(金沢21世紀美術館 学芸課)



## アペルト06 武田雄介

開催中～5月7日(日)  
長期インスタレーションルーム

金沢美術工芸大学博士課程を修了し、金沢を拠点に制作を続けるアーティスト、武田雄介(1985年、広島生まれ)による新作インスタレーション。絵画、写真、映像、音などさまざまなメディアを層的に組み合わせ、空間を構成します。

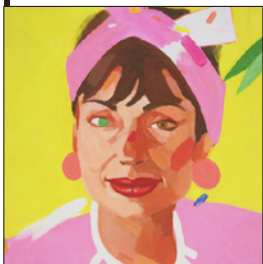


## カタチのたたずまい

開催中～3月20日(月・祝)  
デザインギャラリー

金沢やその近郊で制作をする若手作家4人に焦点をあてた展覧会です。これからの石川の工芸を担う若き作家たちの作品を通して、工芸における新たな可能性を探ります。

## 3月のステージ・イベントプログラム



## フランソワーズ・モレシャンのおしゃれ講座 ～時代を読む vol.23 私のシャネル! Part2

3月25日(土)  
シアター21

アートやファッション、そして現代社会についてモレシャン流の鋭い視点で時代を切り取るトークシリーズ。今回は、前回伝えきれなかったマドモアゼル・シャネルの後半生を「私のシャネル! パート2」としてお届けします。シャネルとは、エレガンスのパスポート。モレシャンさんのガイドで、モードの楽しい旅へご案内いたします。

日時=3月25日(土) 13:30開場 / 14:00開演

会場=金沢21世紀美術館 シアター21

料金=1,500円(当日精算)1ドリンク付

定員=80名

申込=[1] webお申込みフォーム

[2] FAX 076-220-2806

お名前、電話番号、人数を明記の上、「モレシャンのおしゃれ講座係」までお申し込み下さい。

[3] 電話 076-220-2811(金沢21世紀美術館 交流課)

平日(火～金)10:00～18:00

## 3月の教育普及プログラム



## ボランティアの集い 2017 @まるびい

3月11日(土)  
プロジェクト工房

金沢21世紀美術館(愛称:まるびい)はまちに生き、市民とつくる美術館です。今年度も市民のボランティアのみなさんと活動をともにしました。この輪がもっと広がることを願い、美術館での活動を紹介し、ボランティアとして活躍するゲストのお話を聞く会を開きます。

ゲスト= 清水文美(「こども☆ひかりプロジェクト」代表)

日時=3月11日(土) 14:00～16:00

会場=金沢21世紀美術館 プロジェクト工房

対象=どなたでも

参加費=無料

定員=80名(先着順 / 事前予約可能)

事前予約=電話 076-220-2814(金沢21世紀美術館 広報室)またはウェブ申込フォームからお申込みください。

プレスリリース 2月27日配信号



### キッズスタジオ・プログラム ハンズオン・まるびい!

毎週 土・日・祝  
※3/4,3/5を除く  
キッズスタジオ

子どもも大人も一緒に楽しめるスペースです。いろいろな造形遊びで、工夫と発見を楽しもう!

#### プレイルーム

日時=3月11日(土)、12日(日)、18日(土)、19日(日)、20日(月・祝)、25日(土)、26日(日) 13:00~16:00(自由入場)  
場所=キッズスタジオ 対象=子どもから大人まで(小さなお子様は保護者同伴) 料金=無料

(下はプログラムの例です。内容は日によって変わります。)

#### 素材と遊ぶ

#### 「稲わら、わら縄、何つくる?」

冬の美術館で稲わらをトントンたたき、手のひらでネジネジと縄をなってみよう。  
小さなわら縄をクルクルまるめて、どんなかたちが作れるかな?

#### (稲わらについて)

秋に田んぼで刈り取った稲から、米粒の入った籾を取り去ったあとに残る茎の部分が「稲わら」です。軽くて柔らかく保温性もあり、昔から「わらじ」や「しめ飾り」など生活に身近な物の素材として使われてきました。開催中の「工芸とデザインの境目」展では、福井県で作られた「わらじ」が展示されています。ぜひご覧ください。



### キッズスタジオ・プログラム 親子向け情報・休憩スペース 「まるびい・すくすくステーション」

毎週 火・木  
※3/16まで  
キッズスタジオ

キッズスタジオ内にある小さなお子様連れの方をサポートするスペースです。  
小さなお子様とのお散歩や一休みするスポットとしても、ぜひご利用ください!

開催日=毎週 火・木 10:00~12:30(自由入場) ※3月16日(木)まで  
会場=キッズスタジオ  
対象=未就学児とその保護者 料金=無料



### アトライブラリー・プログラム 絵本を読もう キッズスタジオ・プログラムとともに

3月26日(日)  
集合:授乳室前

絵本の読み聞かせのあと、エドゥケーターと一緒に散歩に出かけましょう。

日時=3月26日(日) 11:00~(40分)  
集合場所=授乳室前(キッズスタジオ横)  
料金=無料  
対象=子どもからおとなまで ※小さなお子様は保護者の方とご参加ください  
読み手=大西洋子(ライブラリアン)  
作品案内=吉備久美子(エドゥケーター)

## 3月の休館日

6日(月) / 13日(月) / 21日(火) / 27日(月)

本資料に関するお問合せ

金沢21世紀美術館 広報担当:落合、川守

〒920-8509 金沢市広坂1-2-1 TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802  
http://www.kanazawa21.jp E-mail: press@kanazawa21.jp

※展覧会・イベントの開催時期や内容等は変更になる場合がございます。最新の情報は直接お問合せください。